

気仙沼市病院事業審議会  
令和2年度 第2回会議

会 議 録

令和3年3月22日開催

気仙沼市立病院  
気仙沼市立本吉病院

【出席者】（敬称略）

《委員（6人）》

藤 森 研 司（東北大学大学院医学系研究科 医療管理学分野 教授）【オンライン参加】  
森 田 潔（一般社団法人気仙沼市医師会 会長）  
木 村 伸 之（気仙沼・南三陸介護サービス法人連絡協議会 会長）  
赤 川 郁 夫（気仙沼市 副市長）  
横 田 憲 一（気仙沼市立病院 院長）  
齊 藤 稔 哲（気仙沼市立本吉病院 院長）

《欠席委員（3人）》

齊 藤 和 恵（ママの心と身体の健康サロン 代表）  
渡 邊 浩 幸（宮城県保健福祉部医療政策課 医療政策専門官）  
鈴 木 陽（宮城県気仙沼保健福祉事務所保健医療監・宮城県気仙沼保健所長）

《気仙沼市》

菅 原 茂（気仙沼市長）

《事務局》

大 友 浩 志（気仙沼市立病院 副院長）  
星 達 也（気仙沼市立病院 副院長）  
小 山 よし子（気仙沼市立病院 看護部長）  
菅 原 正 浩（気仙沼市立病院 事務部長）  
千 葉 淳（気仙沼市立病院 事務部総務課長兼附属看護専門学校事務長）  
吉 田 千 明（気仙沼市立病院 事務部総務課長補佐兼管財係長）  
佐 藤 研（気仙沼市立病院 事務部医事課長）  
小野寺 弘 明（気仙沼市立病院 事務部医事課長補佐兼医事係長）  
佐 藤 昭 一（気仙沼市立病院 事務部経営企画課長）  
佐 藤 浩 司（気仙沼市立病院 事務部経営企画課参与）  
熊 谷 岳 豊（気仙沼市立病院 事務部経営企画課主幹兼経営企画係長）  
菊 地 千 秋（気仙沼市立病院 事務部総務課主幹兼経理係長）  
鈴 木 勝（気仙沼市立病院 事務部経営企画課主査）  
村 上 和 夫（気仙沼市立本吉病院 管理課長）  
畠 山 久美子（気仙沼市立本吉病院 看護師長）  
渡 辺 典 之（有限責任監査法人トーマツ）  
上 村 明 廣（有限責任監査法人トーマツ）  
竹 中 秀 郎（有限責任監査法人トーマツ）  
上 原 智 貴（有限責任監査法人トーマツ）

《傍聴者2人》

開会 午後6時

## 1 開会

- 司会（熊谷岳豊）** 委員総数9人のうち6人の出席があり、気仙沼市病院事業審議会条例第7条第2項の規定による定足数に達していることから、令和2年度第2回気仙沼市病院事業審議会を開会する。

## 2 委員紹介

- 司会（熊谷岳豊）** 事務局（熊谷岳豊）より審議会委員の紹介。

## 3 会長及び副会長の選出

- 司会（熊谷岳豊）** 改選後最初の審議会であることから、改めて会長及び副会長を選出していきたいと思う。今回は、全委員に再任していただいたこともあり、事務局案としてこれまでに引き続き、会長藤森研司委員、副会長森田潔委員に就任していただく案を提示したい。

- 委員全体** 異議なし。

- 司会（熊谷岳豊）** ご承認いただいたので、会長藤森研司委員、副会長森田潔委員にお願いする。

## 4 挨拶

- 藤森研司会長** 委員の皆様においては、コロナウイルスが落ち着かない中ではあるが、4月から市立病院が地方公営企業法の全部適用になるということで多くのご意見を頂けることを期待している。よろしく願います。

## 5 審議

- 司会（熊谷岳豊）** 条例第7条第1項の規定により、藤森会長に議長をお願いする。

- 藤森研司会長** それでは、次第に従い議事を進めてまいります。報告事項（1）の「令和2年度気仙沼市病院事業の経営状況について」事務局より説明をお願いする。

**報告** 事務局（佐藤昭一）、事務局（村上和夫）が、「資料1-1（1）令和2年度気仙沼市立病院の経営状況について」、「資料1-1（2）令和2年度気仙沼市立本吉病院の経営状況について」、「資料1-2 気仙沼市立病院における経営改善施策の取組み状況について」より報告。

- 木村伸之委員** 資料1-1のデータについて、令和3年3月分はまだ実績が出ておらず、0という値であるが、下期の達成率が令和3月を含んだ6ヶ月分で割り戻されており、低

い増減率になっている。病院の皆様の頑張りがあり、増減率はもっと高いものだと思うので、少しでも良い数字を出していただければと思う。

○事務局（熊谷岳豊） 大変申し訳ない。ご指摘のとおりなので、改めて修正版を送らせていただきたい。

○森田潔副会長 資料1-2の(2)費用改善施策の部分で、標準品に切り替えると記載があるが、標準品とはどのような物が教えていただきたい。

○事務局（千葉淳） 標準品ということだが、気仙沼市立病院ではメッカルGPOに加盟している。メッカルGPOでは、加盟している各病院でこの材料はこのメーカーのこれを使うといったように標準品を設けている。今まで気仙沼市立病院独自で調達していた材料を、メッカルGPOが全国一律で決めた標準物品・金額に切り替えるだけで、材料費が下がるということである。

○森田潔副会長 多くの病院が共同購入する形で、単価を下げたことを理解した。もう一点、院内調剤の処方薬や処置薬、注射など、以前はバイタルネット、東邦薬品から調達されていたように伺っていたが、もっと複数の卸業者から調達しても良いように思うがいかか。

○事務局（千葉淳） 令和3年度の契約から変更する予定である。今までは気仙沼市内に営業所がある企業に入札参加資格を認めていたが、今後は宮城県内に営業所がある企業も認めて、複数企業が参加できるように拡大し、価格の競争性を発揮させていく。

○森田潔副会長 加えて備品関係のことだが、備品は気仙沼市として地元業者から調達することになっていると思うが、医療に使用するものは一般的な物品でも医療用として高くなる。気仙沼市の契約では、インターネットで安く購入するなどは難しいかもしれないが、もう少し現実的に柔軟な対応にしても良いのではないのかと民間人としては考えるが、その辺りはいかか。

○事務局（菅原正浩） ただいまのご指摘はごもっともだと思う。様々な制約がある中で、常にどの方法が最も安価で質を低下させずに購入できるのかということを考えている。

また、今回お示ししたとおり、多様な費用改善策や収益改善策を講じてきた。その成果が少しずつ出始めており、中でも一番の成果は職員に収益や費用に対して経営的な視点が出てきたことである。今後ご意見を踏まえて、出来るだけ地元貢献しつつ進めて参りたいと思う。

○藤森研司会長 急性期一般入院料4から急性期一般入院料1へ大きくジャンプアップし

ているが、これが出来た要因と今後の展望を教えてください。

○事務局（菅原正浩） 急性期一般入院料1は、以前から取りたいと考えていたが看護配置や患者数の関係からなかなか取れていなかった。過去に一度挑戦したこともあったが、3ヶ月間継続することができず断念した経緯もある。急性期一般入院料1が取れるかどうかということは、毎月モニタリングを続けていく中でコロナウイルスの影響で患者数が減少したこともあって、取れるとなった段階で届出を行った。今後は、患者数が増加すると急性期一般入院料1が継続できなくなる可能性もあるが、その場合でも3ヶ月間継続できたことにより、急性期一般入院料4ではなく急性期一般入院料2を届け出ることができる。

○赤川都夫委員 気仙沼市立病院において、先ほど話のあったとおり、収入増加・費用削減を取り組んでいるということだが、他に今後期待している取組はあるか。

○事務局（菅原正浩） 今後の取組については、今現在進めている中でまだまだ実績が出ていないものがある。例えば、清掃委託費用については、他自治体病院や市の他の建物との比較により、当院の単価が高いのではないかと行った分析を行っている。単価が高い理由については現在も分析をしているところであり、今後も進めていく。他にも診療材料ベンチマークシステムの活用もまだ完全に出来ているわけではない。医療材料管理委員会のワーキンググループは医師が中心となって進めており、医師に交渉窓口なども担っていただくことは、市立病院が本気で取り組んでいるという業者に対する非常に有効な手段になると考えている。これ以外にも様々取り組んでいこうと考えているので、引き続きよろしく願います。

○藤森研司会長 続いて、報告事項（2）の「地方公益企業法全部適用への移行について」事務局より説明をお願いします。

報告 事務局（熊谷岳豊）が、「資料2 地方公営企業法全部適用への移行について」より報告。

○森田潔副会長 事業管理者を横田院長が兼任するということは今の状況を考えると適任だと思うが、事業管理者と院長が一緒というのはそれなりの負荷がかかる。それについてはご説明いただいたように新しい部署を作って対応するということだが、過重労働にならないようにご配慮いただきたいと思う。

○事務局（菅原正浩） 事業管理者と院長の兼任については市議会でも過重労働になるのではといった懸念が挙がったところではあるが、2人の副院長をはじめ、今まで院長が行っていた業務を分担して事業管理者兼院長に業務負荷がかかりすぎないように協力、配慮していく。

○**森田潔副会長** 副院長も重責なので、副院長についてもご配慮をお願いします。

○**藤森研司会長** それでは病院事業管理者になる予定の横田院長からお話をいただければと思う。

○**横田憲一委員** 4月1日から病院事業管理者兼院長として変わらず仕事をさせていただく。まずは何よりもコロナ対応をしっかりと森田医師会長や本吉病院の齊藤院長とともにやっていきたい。感染症のフェーズを変えてくれることが期待されるワクチン接種も進めることでコロナ禍が落ち着いてくれることを信じて、注力していきたいと思う。

また、全部適用ということで、地域の状況変化にも柔軟に対応していく。特に気仙沼地域は、宮城県内で少子高齢化が最も進んでいる地域であり、今後の医療状況がどう変わっていくかは森田医師会長とも以前から話している。データのにも新入院患者数が減少しており、7年前と比べると急性期ニーズが20%減少となっている。それに伴い、リハビリ治療の需要が高まっていることは明らかである。これまでの急性期医療を中心とした医療だけでは済まなくなってきているので、本吉病院の齊藤院長ともこれまで以上に手を携えて、地域の医療を守っていきたい。

○**藤森研司会長** 続いて、報告事項(3)の「議員全体説明会概要報告について」事務局より説明をお願いします。

**報告** 事務局(熊谷岳豊)が、「資料3 気仙沼市立病院新改革プランの令和元年度取組に係る点検及び評価に係る議員全体説明会(令和2年11月17日開催)概要報告」より報告。

○**藤森研司会長** 続いて、報告事項(4)の「公立病院の更なる改革プランの策定について」事務局より説明をお願いします。

**報告** 事務局(熊谷岳豊)が、「資料4 公立病院の更なる改革プランの策定について」より報告。

○**森田潔副会長** 公立病院改革プランの枠組み素案のうち、地域医療構想を踏まえた役割の明確化とあるが、これは公立病院が考えるというよりは、国が考えないといけない内容である。国の方針が定まらず、審議できないということで今年度末の地域医療構想会議も開催を見送った。国の感染症対策が地域医療構想の中で抜け落ちていたことは現場の声として上げていかなければならない。国として方針を出すよう現場の医師から声を上げていただきたいと思う。コロナはワクチンの接種が順調に推移すれば、ある程度落ち着くと思うが、耐性菌等の問題もあるので、感染症対策に限った話ではないが、病床数の削減

という意味ではない地域医療構想を進めて行くうえで、気仙沼市からのご提言も出していただきたい。

## 6 その他

- 藤森研司会長** 全部適用になってサービスが変わらないと言った安心を訴える話も必要だが、全部適用になることで前向きに変わるポジティブな面も積極的に話をしていただければと思う。
  
- 森田潔副会長** 気仙沼市立病院は感染症指定病院であり県内のコロナウイルス感染症患者を受け入れておられるが、気仙沼市内でコロナが発生していないと忙しくないと感じている市民もいる。その中で当初から問題になっていたPPEの不足など、職員が安全に診療・看護できるような供給体制にあるのか教えていただければと思う。
  
- 事務局（菅原正浩）** 当初は在庫がなくなるのではないかとという危惧もあったが、今は一定程度の在庫を抱えられる程度に落ち着いている。ただし、グローブ関係のPPEは不足している。今後は一定程度の在庫を抱えられるようにしたいと思っている。
  
- 森田潔副会長** 気仙沼市立病院は感染症指定病院なのでG-MISを通して発注されていると思うが、厚生労働省から直接入ってくる物品が不足しているということか。
  
- 事務局（吉田千明）** ご指摘のとおりG-MISを通して発注するものは配送しているが、その分だけでは足りていない状況である。病院独自で調達しているもので足りるように努力している。
  
- 森田潔副会長** 必要な分がしっかり供給されていることで今まで院内感染を防げているということもあると思うので、G-MISに入力するときは控えめにせず、現場職員の方々が安全に診療にあたるように、足りていないことをG-MISをとおして出していくのもよいと思う。
  
- 木村伸之委員** 私事ではあるが、気仙沼市立病院の循環器科に85歳の父が運ばれた。担当医を始め皆様のおかげで無事退院し、今も元気に暮らしている。改めて気仙沼市立病院が市民にとって心の拠り所であるというように感じた。私自身、本審議会の委員として今後も汗をかいていこうと思う。改めて感謝申し上げる。
  
- 菅原茂市長** 改選後初回の審議会ということで、改めて委員の皆様には引き続きよろしく願います。また、4月1日から全部適用になるということで、横田院長には病院事業管理者兼院長として、大友副院長、星副院長、本吉病院の齊藤院長の支えの下よろしく願います。先般、横田院長に事業管理者を担っていただくことを東北大学にも報告に参っ

たが、それでは市長はもう東北大学に来なくなるのかといったことを言われたが、そんなことは全くなく今後も通わせていただくという話をした。全部適用には変わるが、市の役割も引き続き果たしていく所存である。

また、コロナ対応もしっかりと院内で対応していただいている。医師会や保健所とも情報共有を密にしており、全体状況の把握は市としても比較的できていると思っている。市の方でもワクチン接種についてはコントロールしていかなければならず、非常に大きな使命だと実感している。今回新たに、ワクチン接種を掌る室を設け、プロジェクト的なことに強い専任の室長も配置したので是非ご指導いただければと思う。

- 司会（熊谷岳豊）** 今後の予定として、令和3年度の審議会は「気仙沼市立病院新改革プランに関わる令和2年度の取り組み状況に対する点検評価」、「令和3年度以降の更なる新改革プランの策定」の2点についてご審議いただきたいと思っている。開催日程については、第1回目を7月下旬頃、第2回目はガイドラインの公表時期によって改めて調整したいと考えている。よろしく願います。

## 7 閉会

- 藤森研司会長** 以上で本日の審議を終了する。

閉会 午後7時10分